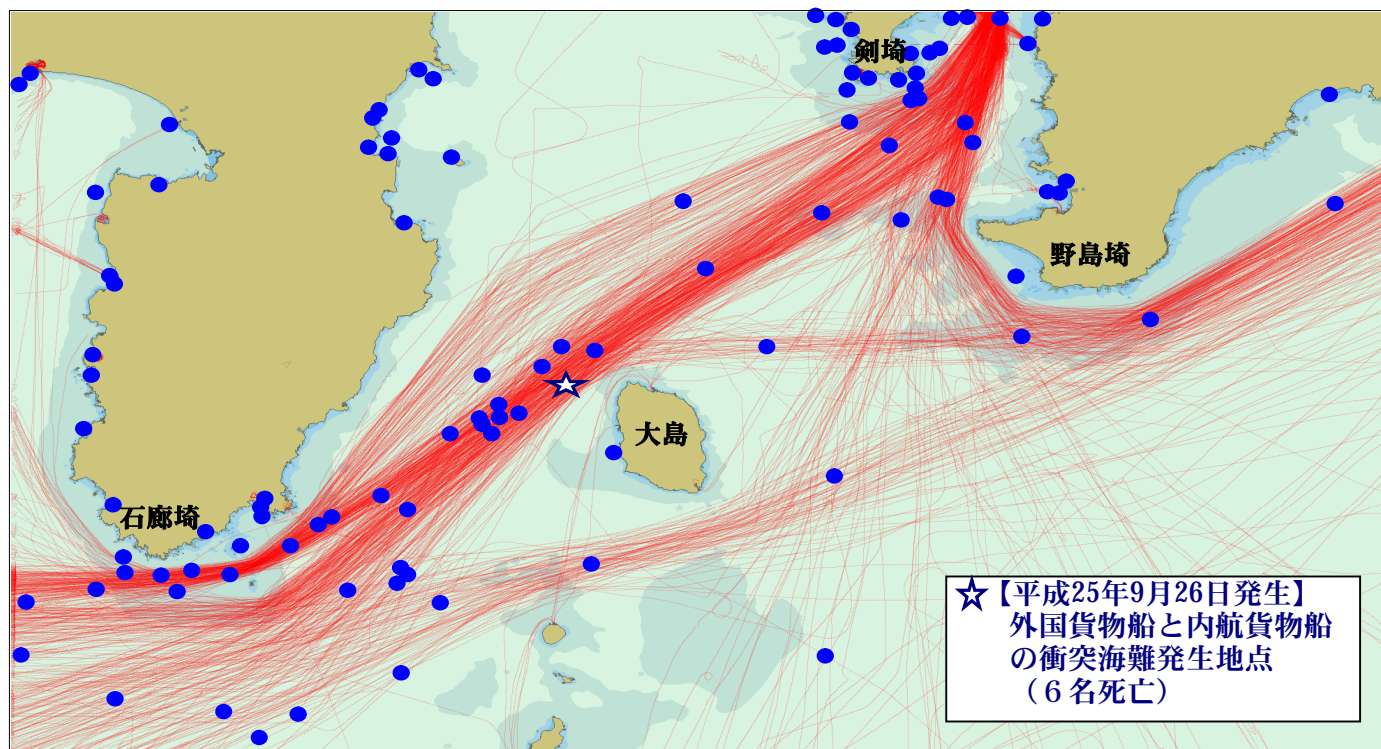


衝突海難を防止するために

船舶交通の状況（赤線 - ）と過去10年間の衝突海難発生地点（青点●）



常時適切な見張りを行いましょう！

◎船舶の幅そう状況や視界の状況（夜間・濃霧等による視界制限状態）に応じ、レーダーやAIS等を積極的に活用して常時適切な見張りを行い、的確に他船の動静を把握しましょう。

船舶間のコミュニケーションを積極的に取りましょう！

◎行会いや横切りの関係になると想定される相手船とは、無線等により積極的に船舶間のコミュニケーションを取るなどし、避航動作等に関する意思の疎通を図りましょう。

適切な避航動作を取りましょう！

◎相手船との衝突を避けるための動作は、十分に余裕のある時期に、相手船が容易に認めることができるように大幅に行いましょう。
◎避航動作を取っても、衝突のおそれが無くなるまでは、きちんと相手船の動静を継続的に確認しましょう。